

会議結果報告書

1. 会議名 令和元年度 第5回 印西市環境推進市民会議
2. 日時 令和元年9月20日（金） 9：30～11：30
3. 場所 農業委員会会議室
4. 出席委員：岩井会長、小山委員、白川委員、平林委員、福井委員、橋本委員
事務局：黒田、藤原（環境保全課）
5. 傍聴者 0名
6. 配布資料
 - ・会議次第、会議席次表
 - ・令和元年度の検討事項（案）
7. 内容
 - (1) 開 会
 - (2) 会長挨拶

会長 まず初めに視察研修の感想を伺いたい。

委員 視野が広がり、大変勉強になった。研究のおかげで天気予報の精度が上がっていることがわかった。今回の台風でもかなり前から電車が止まっていた。ああいった施設に一度は足を運ぶべきだと感じた。

会長 台風の影響はどうだったか。

委員 二日間停電したため発電機を使用した。水は大きな発電機を使用して確保した。実際に体験してみて大変さがわかった。改めて防災について考えることができた。

委員 太陽光や蓄電池があればよいと思った。
 - (3) 議事
 - ①地域交流館まつりについて

会長 11月23日（土）、24日（日）に実施。来場者数は3,000人～4,000人。市民会議は初日のみ出展する。

市 まだ詳細は決まっていないが、展示内容等の検討をお願いしたい。

会長 なにか提案はあるか？台風の影響を取り上げて良いのではと思う。

委員 太陽光の補助金を紹介すればよいのでは。地球温暖化に対する適応策に該当する。自分の家庭でもできることを伝える。

会長 どんな適応策があるかというアイデアを並べポスターにする。来場者にも提案してもらったらどうか。子どもはあまりピンとこない？子どもにできることはなにかあるか？

委員 例えばペットボトルの分別を自分ですることを徹底させるのも違うので

は。分別されてだされているものはごく僅かで、ゴミ捨て場で男性が一人ですべて分別をしていた。

会長 なぜ分別しなければならないのかを教える。

当日の参加者を募りたいがどうか。

1日 福井委員、橋本委員、平林委員

半日 白川委員

岩井会長、小山委員は別ブース

クイズはどうするか。

委員 子どもを対象に海洋プラスチックとクジラのクイズであればできる。痩せ細って死んでしまったクジラがいるがなぜか？というクイズを3択で。

委員 毎年ザリガニのクイズをしているが今年はクジラでいく。

委員 気象庁気象研究所で学んだ地球温暖化による温度上昇の表を掲載してはどうか。温度上昇により100年後の地球はどうか伝える。主婦も来場するため、家の中で温暖化防止のためにどんなことをすればいいか身近なことでできることを伝える。

会長 県の調査によると、太陽光発電を設置している人は電気の使用量が多い。節電のことはあまり考えないように思う。

委員 SDGsはどうするか。

委員 SDGsは表を大きく掲載し、その中の地球温暖化と海洋プラスチックを取り上げる。

会長 SDGsは私で準備する。クイズは小山委員。展示物は次回までにそれぞれ考えてきていただきたい。台風はどうするか？

委員 温暖化により台風が大型化するため、SDGs→地球温暖化→台風→太陽光と蓄電池の補助金の流れでやるのがいいと思う。また、台風については緊急用の井戸がある場所を知らせるマップを掲載するのがいいと思う。

②市民会議での検討事項について

会長 「新たに改定する印西市環境基本計画に取り入れてほしいこと」を検討事項とする。現在の環境基本計画は9年間の計画であり、9年間の間に人口増加に伴う開発等による環境悪化などで環境情勢は大きく異なっている。そのため、市民会議では環境基本計画の改定に伴い参考となるよう提案していく。具体的には以下のとおり。

- ・低下しつつある印西市の環境の魅力をアップさせていく。印西市は環境がいいから引っ越してきたという人を多くしていきたい。
- ・規模は小さくとも地球温暖化防止に熱心な街にしていく。温室効果ガスの

排出削減計画を定め、その目標達成に向け市民とともに温室効果ガスの削減を行う。

- ・新たに制定された「気候変動適応法」を取り入れる。
- ・環境保全活動をしている市民団体の働きを評価していくとともに一般廃棄物の削減に市と市民が努力している様子をアピールしていく。

委員 環境基本計画策定の日程について聞きたい。

市 令和2年度は環境調査をメインに行うとともにアンケートを実施する。令和3年度にとりまとめ、審議会、市民会議、事業者会議を行う予定。検討委員会等を別に作る予定は今のところない。

会長 気候変動適応法を市の条例化することはできるか。

市 義務化されているわけではなく、今のところ予定はないため環境基本計画策定時に作成するのは難しい。ただ細かいところまでは難しいが、環境基本計画の中に文言等を入れ、流れを作っていくことはできると思われる。

会長 環境基本計画は範囲が広いため、各自で分担し自分の興味のあるものについて案を提案していくのがいいのではないか。

委員 国、県や他市の環境基本計画を参考にしたい。印西市と似ているところを選ぶのがいいかと思う。

委員 気候変動適応法はまだ法律ができたばかりでまだはっきりしていないところがあるため、生物多様性地域戦略の策定等について印西市が進めていけるように提案したい。

委員 10年間という計画期間を変えることはできるのか。

市 総合計画に基づいているので10年という計画期間を変えることはできないが、5年に1度見直しを行うことになっている。

会長 では次回までにどこをやりたいか考えてきていただきたい。

令和元年10月18日

委員 平林 光子

委員 福井 章夫